

報道機関各位

青森県県土整備部監理課長
(公印省略)

令和6年度第1回青森県公社理事長候補者審査会における審査結果について

令和6年度末で任期が満了となる青森県土地開発公社及び青森県道路公社の理事長 岡前 憲秀 氏について、青森県公社理事長選任手続要綱第5に基づき、去る令和6年12月5日(木)に開催された令和6年度青森県公社理事長候補者審査会において、理事長の再登用の取扱いについて、下記のとおり承認されましたのでお知らせします。

記

【青森県公社理事長候補者審査会における審査結果】

県側から、下記の理由により現理事長を再登用することの承認依頼を行いました。

(1) 現理事長は、土地開発公社において、県の用地行政における公社の役割を適切に果たしながら、公社の経営の安定化を図るため業務執行体制の効率化や人件費を含む経費の削減など様々な経営改革に取り組んでおり、理事長就任以来、土地開発公社は継続して黒字を計上していること。

また、道路公社においては、長年にわたり培ってきた道路行政に係る豊富な知識・経験を活かし企業の視点も踏まえた様々な経営改革に取り組んできたところであり、中期経営計画書の見直しはもとより、点検・補修などの安全性向上に向けた取組や、ETC設置などの利便性向上、令和4年8月の大雨災害への対応など、安全で利便性の高い有料道路の確立に向けた更なる経営改革に取り組んでおり、公社経営に対する姿勢とその手腕は高く評価できるものであること。

(2) 有料道路の運営については、安全で利便性の高い高速交通ネットワークを確保するという社会的使命を果たすことが求められている一方、令和4年11月には国直轄の上北自動車道が全線開通し、みちのく有料道路及び第二みちのく有料道路の将来に向けた管理運営のあり方などについての検討が本格化するとともに、令和9年には青森空港有料道路の料金徴収期間が満了するなど、今後大きな経営環境の変化が予想されることから、道路運営に関する豊富な経験と人脈、強力なリーダーシップ及び粘り強い交渉能力を備えた人材の継続的な登用が求められていること。

青森県公社理事長候補者審査会では、現理事長の経営理念、経営能力、実行力、リーダーシップ等について検証した結果、この理由について合理性があることを認めるとともに、理事長としての適格性があると判断し、令和3年度に公募制の手続を経て理事長に就任した岡前氏の再登用について承認しました。

報道機関用提供資料	
担当課 担当者 電話番号	監理課 総務グループマネージャー 進藤 将 直通：017-734-9635 内線：6647 FAX：017-734-8178
報道監	県土整備部次長 中道 悟